

会員各位

長崎市福祉部

部長 山口伸一

長崎市介護支援専門員連絡協議会

会長 大町由里

(公印省略)

新型コロナウイルス感染症に伴う居宅介護支援に係る対応について(第7報)

皆様におかれましては、2021年を迎え、新たな気持ちでスタートをきられたことと思います。新年を迎えてもなお、長崎市においては新型コロナウイルス感染症が多発している状況です。今後、サービスの調整におかれましては、ケアマネジャーの皆様の協力が一層必要となります。2020年12月28付けでホームページに掲載致しました以下の表の確認を再度お願いします。

個々に実践されているケアマネジメントは、皆様の大切なご利用者にとって必要不可欠なサービスとなっているのは当然のことです。その上で、いま、クラスターを回避するための調整が必要となる状況下にあります。クラスターが発生することにより、利用可能なサービスが広範囲に縮小されてしまいます。同時にサービス利用に対する必要以上の自粛を招く恐れもあります。

また、調整の際は、専門職等との協働による、ご利用者の自立支援への配慮をお願い致します。

いま優先すべきことが何かを共に考え、居宅サービス、施設サービス、行政が一丸となり、コロナ渦における社会の混乱と感染の拡大を可能な限りなくしましょう。また、介護へのご家族の協力、誹謗中傷をなくすための住民の理解、感染により痛みを伴っている人への緩和、休みなく向き合っている医療従事者、介護従事者、関連するすべての人への労いをもち、介護支援専門員の私達は優しさと強さをもって要となり行動しましょう。どうぞ、ご理解とご協力をお願いします。

各種サービス感染拡大リスク				
	密接	密集	密閉	クラスター リスク
通所サービス (デイケア・デイサービス)	◎	◎	△～○	◎
訪問(自宅)	◎	×	△～○	×
在宅有料ホーム	△	△～○	×～△	△
特老	△～○	△～○～◎	△	○
《感染拡大時の対応》				
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 通所サービスにおいてはなるべく限定しておく(流行時に閉じる可能性が大きい) ➤ 通所サービスと訪問サービスの併用は減らす(クラスター発生要因となる) ➤ 訪問系のサービスを強化する(密にならずクラスター発生のリスクが低い) ➤ 高リスクの場合、入所系サービスも視野に入れる ➤ 追加：インフォーマル(ご家族等)の支援の協力 				

当協議会での「居宅介護支援事業所版 BCP」「COVID-19 手順書:居宅版」「COVID-19 就業制限ガイドライン version 1.0」を参考にしてください。

※長崎市介護支援専門員連絡協議会ホームページへ掲載しています。

- ❖ 長崎市介護支援専門員連絡協議会ホームページにも掲載しております。
- ❖ ご意見等がございましたら、当議会のホームページのフォームに送信ください。